

大町「北小カフェ」交流活発に



大町市大町北小学校
(宮入勝彦校長)の「北
小カフェ」は14日、開
かれた。第一中学校や
西小などからもコミュ
ニティ・スクール運営
に関わる人たちが参加
した。学区を超えた横
のつながり、学びあい
が地域の大人たちの間
で生まれ始めている。
地域と学校が協働し
て学校運営を考える、
文科省型コミュニ
.....
「地域の子どもたち」
の学びを考える集いが
学区を超えて広がり始
めている

ティ・スクールの一環。
同カフェは、昨年9月
に始まったさくばら
んな交流の場で、地域
の人や保護者、教諭ら
などが参加し、カフェ
を介して放課後学習教
室が始まるなど、活発
な活動が生まれている。
この日は、各校の地
域コーディネーターを
はじめ、学校運営協議
会委員やボランティア
ア、保護者など計20人
余りが集った。「子ど
もの手伝い」と「放課
後学習教室でできるこ
と」をテーマに、グルー
プに分かれて話し合っ

た。昔の子どもたちが
家族を手伝った様子や
当時の苦労、現役子育
て家庭でのお手伝いの
工夫などが話され、世
代間の相互理解の場と
なっていた。

市教育委員会は「こ
れまで信州型で培って
きた支援する」され
るから、なかなか抜
け出せない課題は、ど
の学校も共通のものだ
と思う。(北小カフェ
のように)地域が具体
的に動いていくこと
で、次の一歩が踏み出
せるのではないかと、
期待を寄せていた。
市では現在、ボラン

ティアによる学校支援
に重点を置く「信州型」
のコミュニティ・ス
クールから、地域住民
による「学校運営行議
会」を置くことを定め
る文科省型への切り替
えが行われたばかり
で、双方の良い部分を
生かす仕組みづくりが
課題となっている。

大系タイムス

発行所
◎大系タイムス社
長野県大町市依町1851
〒398-0002
TEL0261(22)2110
FAX0261(22)2111

ホームページ
<http://www.chitotimes.co.jp/>
Eメール(記事)
hodo1@chitotimes.co.jp
Eメール(広告)
koukoku@chitotimes.co.jp

購読料1ヵ月2,000円(税込)
1部 100円

本紙購読申込所
羽田(大町西側) ☎0261-22-1450
羽田(大町東側) ☎0261-22-0553
羽田(常盤) ☎0261-22-1450
大町読売 ☎0261-22-4784
松川中日 ☎0261-62-6010
矢崎(池田) ☎0261-62-2533
池田読売 ☎0261-62-2252
山本(白鳥) ☎0261-72-2024
山本(小谷) ☎0261-72-2024
藤沢(八坂) ☎0263-87-2354
穂高信毎 ☎0263-83-7878
滝沢(豊科) ☎0263-73-3000
信毎販売豊科 ☎0263-72-6507
信毎一日市場 ☎0263-77-8787
鳥羽(明科) ☎0263-62-2312

白馬中 SDGsで意見交換

地元住民招き初ミーティング

白馬村白馬中学校は25日、国連が提唱する「SDGs」



村内企業などからSDGsの
実践について聞く生徒たち

（持続可能な開発目標）に沿った活動を展開する村民らを講師に招き、生徒と車座で交流する「白馬中SDGsミーティング」を初めて開いた。平日にもかかわらず、観光業

の経営者や再生エネルギーの専門家、環境活動家、女性村議、子ども食堂主宰者ら22人が参加。全校生徒がそれぞれの活動を聞いて回り、3年生はグループごとに準備した意見をぶつけた。

各講師が取り組むテーマごとに19のコーナーを講堂に設け、生徒約200人が興味に応じて複数のコーナーで話を聞いた。プラスチックごみについて学ぶ3年生のグループは、紙容器を利用する飲食業の蟻末健さん(38)に「ペットボトルを使うのをやめる。水筒を持ち歩く」と主張。これに蟻末さんは「誰も取り残さないこともSDGsの重要な視点」と指摘し、プラ関連業界で働く人も多くいることを意識して訴え方を工夫してみたいと助言した。

白馬中は総合的な学習でS

DGsについて学び、実践を調めるのではなく、メリットを進めている。3年の伊藤優奈を発信していきたい」と学びさん(14)は「デメリットを強の手応えを話していた。

2021.6.26 信毎